

第274回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日 時 令和6年12月14日(土)
会 場 ステーションコンファレンス東京 5・6階 (千代田区)
第I会場 (503CD)
第II会場 (503AB)
第III会場 (501A)
第IV会場 (501B)
第V会場 (602AB)
PCセンター (501S)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4～6階
TEL 03-6888-8080

会 長 慶應義塾大学医学部 循環器内科
家田 真樹

御 案 内

1. 参加費：会員／非会員(医師) 3,000円
後期研修医、コメディカル 1,000円
初期研修医、医学部学生 無料
※当日、受付にて初期研修医証明書、学生証をご提示下さい。
2. 受付時間：参加受付 8:30-18:00
PCセンター 8:30-17:30
3. 一般演題発表時間：口演5分、討論2分
4. Award：Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。
選考委員による第一次書類審査による選考後、地方会当日口述発表による第二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(口演6分、討論4分)
Student Award：第II会場：16:00-16:50
Resident Award：第I会場：16:00-16:50
Case Report Award：第I会場：17:10-18:00
Clinical Research Award：第II会場：17:10-18:00
なお、以下の項目が審査の対象となります。
 - 1) 正しい医学用語の使用
 - 2) 発表時間の厳守と態度
 - 3) 考察
 - 4) 質問に対する応答
 - 5) 循環器臨床に対する貢献度表彰式は評議員会終了後に評議員懇親会で行います。
5. その他：会場内では携帯電話のスイッチはお切りいただくかマナーモードに設定して下さい。
また、講演中の写真撮影はご遠慮下さい。

託児サービスのご案内：

日本循環器学会関東甲信越支部では、地方会へのご参加の利便を図るため託児サービスを行っております。

評議員会：地方会終了後、第I会場で行います。

(懇親会は5階フロアにて行います。)

次回地方会：第275回地方会は次の通りです。

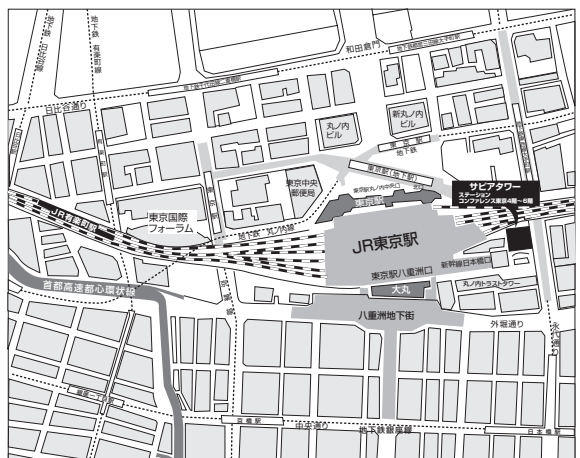
日時：令和7年2月8日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：緒方 信彦

(上尾中央総合病院 心臓血管センター
循環器内科)

ステーションコンファレンス東京 案内図



交通のご案内

【JR線・東京メトロ】

「東京駅」日本橋口(新幹線専用改札口) 徒歩1分

八重洲北口改札口 徒歩2分

東京メトロ東西線「大手町駅」B7出口から直結

ご挨拶

第274回日本循環器学会関東甲信越地方会
会長 家田 真樹
慶應義塾大学医学部 循環器内科 教授

この度、第274回日本循環器学会関東甲信越地方会の大会長を拝命いたしました。地方会の原点に立ち返る気持ちを込めて、大会テーマを「若き知の結集と次世代への継承」といたしました。地方会は医学生、レジデントなど若手にとって人生最初の発表の場ともなる重要なイベントです。ぜひ関東甲信越から多くの若き知に結集していただき、発表や議論に積極的に参加して会を盛り上げていただきたいと思います。また1000名近い参加者が見込まれる本会には、指導医やベテランの先生方も多く参加いただいています。循環器の最新トピックスや先生方のご経験を、教育セッション、会長企画セッション、一般演題等の講演や質疑応答などを通して、次世代に継承していただければ幸いです。本会を通して循環器領域が益々発展するよう、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、二次元コードより要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。



第274回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和6年12月14日（土）
 会場：ステーションコンファレンス東京 5・6階（千代田区）
 会長：慶應義塾大学医学部 循環器内科 家田 真樹

第I会場		第II会場		第III会場		第IV会場		第V会場	
8:50	開会挨拶								
9:00	会長企画セッションI 心筋症New Era! 診断のポイントから最新の治療まで 演者：木村 和広、遠藤 仁、田尻 和子、末永 祐哉、前嶋 康浩 P4	9:00	一般演題 心不全1 P7	9:00	一般演題 腫瘍循環器/先天性 P12	9:00	一般演題 デバイス P16	9:15	一般演題 弁膜症 P21
10:30		9:45		9:45		9:45		10:15	
10:40	教育セッションI SHD治療の最前線 演者：原 英彦、八島 史明、出雲 昌樹、竜崎 俊巨 P4	10:00	一般演題 肺高血圧 P7	9:55	一般演題 心膜・腫瘍 P13	10:30	一般演題 心不全2/地域医療 P16	10:25	一般演題 心内膜炎/末梢血管 P22
12:10		10:40	心不全療養指導士セッション 心不全療養指導資格取得後の現場でのスキル発揮と、多職種連携 演者：福井 理恵、高取 幸恵、加島 広太、皆川 健太、武田 真央 P8	10:40	学術委員会企画セッション 心臓イメージング技術の進歩と心筋病変の診断に迫る 演者：品田慶太郎、高村 千智、加藤 真吾 P14	10:40	災害対策委員会企画セッション 災害対応における循環器学会の役割：関連学会との協働 演者：鶴田 真也、高村 雅之、横堀 将司、岩田英理子 P17	11:00	
12:20	ランチョンセミナー1 高齢・慢性腎臓病の心房細動患者を守る薬物治療と経皮的左心耳閉鎖術のこれからの展望 演者：原 英彦 共催：プリストル・マイヤースクイブファイザー P4	12:10		12:10		12:10		11:10	一般演題 大動脈/静脈 P23
13:10		12:20	ランチョンセミナー2 Common Diseaseに潜むATTRvアミロイドーシスの鑑別と治療 ～遺伝性疾患はどのように鑑別し治療する?～ 演者：村田 広茂、前嶋 康浩 共催：Alnylam Japan P8	12:20	ランチョンセミナー3 「超高齢社会の循環器診療～慢性冠症候群と心房細動～」 演者：上村 史朗 共催：第一三共 P14	12:20	ランチョンセミナー4 「CTEPH治療戦略 up to date」 演者：安西 淳 共催：MSD P17	12:20	ランチョンセミナー5 心腎連関 演者：小林 正武 共催：日本ペーリンガー・インゲルハイム日本イーライリリー P24
13:20	会長企画セッションII 不整脈非薬物治療の進歩 演者：西山 信大、関口 幸夫、山根 禎一 P5	13:20	基礎研究セミナー YOUは何しに基礎研究へ？ 演者：秋葉 庸平、勝海 悟郎、山田 優、候 聡志 P9	13:20	第21回ダイバーシティ・フォーラム メディカルスタッフと共に進める働き方改革 演者：濱崎 伸明、村澤 孝秀、栗原まき子、前田 明子 P14	13:20	一般演題 虚血性心疾患1 P18	13:20	一般演題 不整脈 P24
14:50		14:50		14:50		14:05		14:05	
15:00	デザートセミナー1 リスク低下を目指す包括的脂質低下療法 演者：若田 洋 共催：興和 P5	15:00	デザートセミナー2 心エコーによる壁の厚い心筋症の鑑別診断 演者：山田 聡 共催：サノフィ P9	15:00	デザートセミナー3 慢性心不全の診断と治療 演者：白石 泰之 共催：アストラゼネカ 小野薬品工業 P14	14:15	一般演題 虚血性心疾患2 P18	14:30	教育セッションII 『医療AI研究プラットフォーム』 演者：永井 良三、喜連川 優 P25
15:50		15:50		15:50		15:00		16:00	
16:00	Resident Award P5	16:00	Student Award P9	16:00	臨床研究セミナー ここまで進んだ大規模データ解析：この研究の工夫はここだ！ 演者：神馬 崇宏、新美 望、齋藤 佑一、植田 育子 P15	15:10	一般演題 心筋炎・心筋症 P19	16:00	
16:50		16:50		17:00		16:00		16:10	デザートセミナー5 インターベンションを尽くしたその先に～LVADという選択肢が治療戦略を変える～ 演者：米津 太志、野本美智留 共催：ニプロ P25
17:10	Case Report Award P6	17:10	Clinical Research Award P10			16:10	デザートセミナー4 「リードレスペースメーカー「Micro」の今を知る」-患者選択から安全留置のpointまで- 演者：徳竹 賢一 共催：日本メドトロニック P20	17:00	一般演題 心不全3/虚血性心疾患3 P25
18:00	閉会挨拶								
18:10	評議員会								

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいますようお願い申し上げます。

セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）はそれぞれ単位の登録手続きを行っていただく必要がございます。お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～18:00（開催終了まで）

■「教育セッション」（3単位）受付時間 10:10～11:40/14:00～15:30（開始30分前から終了30分前まで）

第 I 会場

会長企画セッション I

9:00-10:30

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 家田 真樹

座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元

心筋症New Era! 診断のポイントから最新の治療まで

心筋症における遺伝学的検査の臨床応用

(信州大学医学部附属病院循環器内科)

木村 和広

桑原宏一郎

(信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター)

山口 智美、古庄 知己

ATTRアミロイドーシス診療の現在地と未来

(慶應義塾大学医学部循環器内科)

遠藤 仁

抗がん薬治療関連心筋傷害の適切な管理と治療

(国立がん研究センター東病院循環器科)

田尻 和子

本邦の心臓サルコイドーシス診療における未解決問題

(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座)

末永 祐哉

ミトコンドリア心筋症の最新の知見

(東京科学大学循環器内科)

前嶋 康浩

教育セッション I

10:40-12:10

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 林田健太郎

座長 (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 渡邊 雄介

SHD治療の最前線

成人先天性心疾患に対するカテーテル治療の最前線

(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

原 英彦

TAVIにおける最新のエビデンスと適応の進化

(済生会宇都宮病院循環器内科)

八島 史明

僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療の今

(聖マリアンナ医科大学循環器内科)

出雲 昌樹

三尖弁閉鎖不全症の予後とカテーテル治療の最前線

(慶應義塾大学医学部循環器内科)

竜崎 俊亘

ランチオンセミナー 1

12:20-13:10

共催：プリストル・マイヤースクイブ株式会社/ファイザー株式会社

座長 (千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 小林 欣夫

高齢・慢性腎臓病の心房細動患者を守る薬剤治療と経皮的左心耳閉鎖術のこれからの展望

(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

原 英彦

会長企画セッションⅡ

13:20-14:50

座長 (慶應義塾大学医学部不整脈先進治療学寄附研究講座) 高月 誠司

座長 (北里大学医学部循環器内科学) 深谷 英平

不整脈非薬物治療の進歩

心臓再同期療法 最近の話題

(虎の門病院循環器センター内科) 西山 信大

経皮的リード拔去

(榊原記念病院循環器内科) 関口 幸夫

新時代のカテーテルアブレーション：パルスフィールドアブレーション

(東京慈恵会医科大学循環器内科) 山根 禎一

デザートセミナー 1

15:00-15:50

共催：興和株式会社

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 遠藤 仁

リスク低下を目指す包括的脂質低下療法

(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学) 岩田 洋

Resident Award

16:00-16:50

座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳

座長 (千葉大学大学院医学研究科循環器内科学) 小林 欣夫

審査委員長 (日本医科大学武蔵小杉病院救急・総合診療センター総合診療科) 塚田(哲翁) 弥生

審査委員 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科) 南野 徹

審査委員 (獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科) 豊田 茂

審査委員 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元

I-1 心筋炎を契機にElectrical stormに至ったLQT1の一例

(国際医療福祉大学病院) 山田 秀悟

(国際医療福祉大学病院循環器内科) 池田 尚平、佐藤 公一、篠崎真莉子、三木 景太、

平野 道基、福田 浩二、武田 守彦

I-2 心ファブリー病診療支援アプリの開発と専門医との比較評価

(東京大学医学部附属病院総合研修センター) 久保祐太郎

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 小寺 聡、佐藤 将敬、岸川 理紗、澤野晋之介、

篠原 宏樹、石田 純一、網谷 英介、藤生 克仁、

赤澤 宏、武田 憲彦

I-3 経皮的左心耳閉鎖術後の医原性重度ARに対して外科手術を施行した一例

(虎の門病院循環器センター外科) 神谷 寛登

中永 寛、西村 承子、植木 力、佐藤 敦彦、

松山 重文、田端 実

I-4 ECPELLAを用いて救命し得た衝心脚気の1例

(日本大学病院) 詫摩 華子

(日本大学病院循環器内科) 門傳 昌樹、松永 悠路、佐々木 潤、瀬戸口俊貴、

野牛 聖那、大角 彰仁、渡辺 洋司、槇田 綾乃、

磯 一貴、八木 司、鈴木 康之、鷲尾 武彦、

松本 真明、深町 大介、横山 勝章、松本 直也

(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科)

奥村 恭男

- I-5 冠微小循環障害がメカニズムと考えられたKounis症候群の一例
 (昭和大学江東豊洲病院臨床研修センター) 渡部 彩香
 (昭和大学江東豊洲病院循環器内科) 柴田 恵多、浅川 将輝、石永 智之、相澤 直樹、
 古屋 貴宏、佐藤 千聡、西蔵 天人、池田 尚子、
 若林 公平、丹野 郁

Case Report Award

17:10-18:00

- 座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎
 座長 (獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科) 田口 功
 審査委員長 (日本医科大学付属病院循環器内科) 浅井 邦也
 審査委員 (東京医科大学病院循環器内科) 里見 和浩
 審査委員 (横浜市立大学医学部循環器内科学) 日比 潔
 審査委員 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩

- I-6 多発血管炎性肉芽腫症による急性大動脈弁逆流症に大動脈弁置換術を行った一例
 (東京科学大学病院循環器内科) 西川陽一郎
 山上 洋介、根岸 美帆、平澤 憲祐、落田 美瑛、
 仁井田崇志、後藤健太郎、梅本 朋幸、米津 太志、
 前嶋 康浩、笹野 哲郎

- I-7 V-A ECMO導入に至った好酸球増多症による冠攣縮の一例
 (平塚市民病院循環器内科) 保住 英希
 片山 隆晴、松井 杏美、中村 貴裕、三山 寛司、
 三浦光太郎、染谷 将太、高木 俊介
 (平塚市民病院救急科) 葉 季久雄
 (池上総合病院循環器内科) 青木 友樹、棗田 誠

- I-8 セレン欠乏により急激な心機能障害を呈し、その補充により改善が得られた一例
 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 森泉 友斉
 西山崇比古、小室 薫子、平出 貴裕、岸野 喜一、
 白石 泰之、桃井 瑞生、遠藤 仁、林田健太郎、
 鶴田ひかる、香坂 俊、家田 真樹

- I-9 うっ血性心不全を契機に診断し得た卵巣がん術後の肺腫瘍血栓性微小血管症の一例
 (聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 三原 豊
 宮原 大輔、鈴木 規雄、金木 真理、齊藤 亜美、
 奥野 泰史、桑田 真吾、石橋 祐記、出雲 昌樹、
 田邊 康宏、明石 嘉浩
 (聖マリアンナ医科大学病院病理診断科) 野呂瀬朋子

- I-10 左側臥位で僧帽弁逆流が重症化し血行動態が破綻する心膜部分欠損が疑われた1例
 (杏林大学医学部付属病院循環器内科) 木島 優太
 毛利 崇人、浦田 翔一、金澤 悠、渡邊 貴之、
 西 智子、南島 俊徳、合田あゆみ、松尾征一郎、
 河野 隆志、佐藤 俊明、坂田 好美、副島 京子

第Ⅱ会場

一般演題 セッション1 心不全1

9:00-9:45

座長 (杏林大学医学部付属病院循環器内科) 河野 隆志

座長 (東京大学医学部循環器内科) 瀧本 英樹

コメンテーター (群馬大学医学部付属病院循環器内科) 小保方 優

Ⅱ-1 腹部大動脈瘤-下大静脈瘻による高心拍出量性心不全から心停止に至り、ステントグラフト内挿術で改善した1例

(練馬光が丘病院循環器内科) 久米 悠介

山本 慶、久保田康平、佐藤みどり、岩崎 俊充、

大久保雄右、赤池 永成、伴 総一郎、斎藤 大樹、

間瀬 卓顕、佐藤 陽

Ⅱ-2 心房頻拍に対するカルディオバージョンによって心不全の増悪を繰り返したHF_rEFの1例

(心臓血管研究所付属病院) 石崎 祐弥

加藤 祐子、廣田 直美、有田 卓人、八木 直治、

岸 幹夫、嘉納 寛人、松野 俊介、鈴木 信也、

大塚 崇之、矢嶋 純二、山下 武志、上嶋 徳久、

及川 裕二

Ⅱ-3 低左心機能、ネフローゼ症候群を背景とした心房心室血栓の1例

(順天堂大学医学部附属浦安病院循環器内科) 島袋あずさ

高須 清、鈴木 隆誠、住吉 まり、都丸 雅人、

阿部 寛史、安田健太郎、柿原 翠、牧 正彬、

島井 亮輔、磯貝 浩之、尾崎 大、安田 友紀、

小田切史徳、高村 和久、宮崎 哲朗、戸叶 隆司

Ⅱ-4 両心室内血栓を生じ、腹部塞栓症を来したHF_rEFの一例

(東京慈恵会医科大学循環器内科) 白神 達朗

吉井 顕、多賀宇太郎

Ⅱ-5 左室補助人工心臓を要した重症心不全患者に対するSodium-Glucose Cotransporter-2阻害剤の導入

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 山本あんず

野本美智留、荒井 隆秀、中埜信太郎

Ⅱ-6 若年女性の初回心不全の一例

(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 松野 大輝

新倉 寛輝、池田 長生、中村啓二郎、飯島 雷輔、

原 英彦

一般演題 セッション2 肺高血圧

10:00-10:30

座長 (杏林大学医学部循環器内科学) 伊波 巧

座長 (筑波大学附属病院循環器内科) 佐藤 希美

コメンテーター (慶應義塾大学医学部循環器内科) 平出 貴裕

Ⅱ-7 神経線維腫症Ⅰ型に合併した肺高血圧症の1例

(東京医科大学病院循環器内科) 川上 恵

可児 純也、中島 麻由、伊藤 有紀、寺澤 無量、

山下 淳、小菅 寿徳、里見 和浩

II-8 バルーン肺動脈形成術を施行した末梢性肺動脈狭窄症が疑われた若年成人女性
(慶應義塾大学医学部循環器内科) 矢野 修平
安西 淳、平出 貴裕、桃井 瑞生、前田 高志、
池上 翔梧、新屋 貴章、白石 泰之、家田 真樹
(杏林大学医学部循環器内科) 伊波 巧

II-9 罹病期間の長い慢性血栓性肺高血圧症に対して可能な限りの経皮的肺動脈形成術が有効であった1例
(新潟市民病院循環器内科) 大窪 愛香
尾崎 和幸、加藤 晃帆、原 悠輔、小柳 宣人、
米山晋太郎、柏 麻美、林 由香、田中 孔明、
保坂 幸男、土田 圭一、高橋 和義

II-10 急激な転機を辿った肺静脈閉塞症が疑われた1例
(山梨大学医学部循環器内科) 渥美真生子
中村 和人、矢ヶ崎 萌、堀越 健生、須藤 洸司、
植松 学、出山順太郎、渡邊 陽介、吉崎 徹、
黒木 健志、小林 剛、中村 貴光、佐藤 明

心不全療養指導士セッション

10:40-12:10

座長 (ゆみのハートクリニック看護部) 小林 由佳
座長 (聖マリアンナ医科大学病院治験管理室) 土岐 真路

心不全療養指導資格取得後の現場でのスキル発揮と、多職種連携

慢性心不全患者への看護とACP ～療養指導士のスキルを活かして～

(慶應義塾大学病院看護部) 福井 理恵

「訪問看護×心不全療養指導士～CHFEホームケアネットワークの設立とその活動～」

(ゆみの訪問看護ステーション看護部) 高取 幸恵

理学療法士として療養指導士のスキルを活かす

(東京女子医科大学病院リハビリテーション部) 加島 広太

栄養食事管理の個別化と連携の実践

(榊原記念病院栄養管理科) 皆川 健太

循環器病棟で唯一の心不全療養指導士が薬剤師であったときに出来ること

(川崎市立多摩病院薬剤部) 武田 真央

ランチョンセミナー 2

12:20-13:10

共催：Alnylam Japan 株式会社

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 家田 真樹

Common Diseaseに潜むATTRvアミロイドーシスの鑑別と治療 ～遺伝性疾患はどのように鑑別し治療する？～

「ATTRアミロイドーシスの見つけ方と遺伝型の鑑別の重要性」

(日本医科大学付属病院循環器内科) 村田 広茂

「循環器内科医が診るATTRvアミロイドーシスとTTR産生抑制の意義」

(東京科学大学循環器内科) 前嶋 康浩

基礎研究セミナー

13:20-14:50

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 貞廣 威太郎

座長 (東京大学医学部附属病院先端循環器医科学講座) 野村 征太郎

YOUは何しに基礎研究へ?

血管内皮細胞を介した心不全に対する新規治療法開発

(慶應義塾大学医学部循環器内科)

秋葉 庸平

家田 真樹

(慶應義塾大学医学部予防医療センター)

楠本 大

「老化」を治療する ～老化細胞を標的とした加齢関連疾患治療の開発～

(順天堂大学医学部内科学教室循環器内科学講座) 勝海 悟郎

ダイレクトリプログラミングでHFpEFを治したい!

(筑波大学医学医療系循環器内科)

山田 優

シングルセル・マルチオミクス解析で解き明かす心不全の分子病態

(東京大学大学院医学系研究科先端循環器医科学講座) 候 聡志

デザートセミナー 2

15:00-15:50

共催：サノフィ株式会社

座長 (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 横山 直之

心エコーによる壁の厚い心筋症の鑑別診断

(東京医科大学八王子医療センター循環器内科)

山田 聡

Student Award

16:00-16:50

座長 (北里大学医学部循環器内科) 阿古 潤哉

座長 (防衛医科大学校循環器内科) 足立 健

審査委員長 (東海大学医学部内科学系循環器内科学) 伊莉 裕二

審査委員 (山梨大学医学部附属病院循環器内科) 佐藤 明

審査委員 (日本大学病院循環器内科) 松本 直也

審査委員 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 武田 憲彦

II-11 慢性血栓塞栓性肺高血圧症と大動脈弁狭窄症の治療の順番に慎重な評価を要した1例

(東邦大学医学部医学科)

中山 舞

(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

池田 長生、佐藤 学、橋本 剛、新倉 寛輝、

林 典行、国正 妙子、中村啓二郎、飯島 雷輔、

原 英彦

II-12 ANCA関連血管炎と鑑別を要したIgA血管炎合併の感染性心内膜炎の1例

(東京医科大学医学部)

宮本 遥樹

(東京医科大学病院循環器内科)

笠原 智大、根本 佳子、長谷川皓紀、楠目 宝大、

里見 和浩

(東京医科大学病院心臓血管外科)

島原 佑介

II-13 冠攣縮の関与が推察される突然死例の心外膜冠動脈と心筋間小動脈の病理形態異常

(昭和大学医学部医学科)

山近萌恵乃

(昭和大学医学部法医学講座)

松山 高明

(昭和大学医学部法医学講座/昭和大学藤が丘病院循環器内科)

中村 恵里、曾根 浩元

(昭和大学藤が丘病院循環器内科)

森 敬善、鈴木 洋

(昭和大学藤が丘病院臨床病理診断科)

小川 高史

II-14 Shared Decision Makingで経皮的人工弁周囲逆流閉鎖+心室中隔欠損閉鎖術を施行した一例
 (東邦大学医学部医学科) 佃 里彩
 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 佐藤 学、橋本 剛、林 典行、新倉 寛輝、
 池田 長生、國正 妙子、中村啓二郎、飯島 雷輔、
 原 英彦

II-15 FFRangioの精度と特徴、Bland and Altman 解析を用いた2解析者間の比較検討
 (国際医療福祉大学医学部医学科) 富田 徳篤
 星 昂太郎
 (千葉西総合病院臨床工学科) 渡部 惇、林 貞治
 (千葉西総合病院循環器内科) 三角 和雄
 (国際医療福祉大学医学部循環器内科) 河村 朗夫
 (国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎

Clinical Research Award 17:10-18:00

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子
 座長 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学) 石井 秀樹
 審査委員長 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男
 審査委員 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 中埜信太郎
 審査委員 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙
 審査委員 (東京科学大学循環制御内科学) 笹野 哲郎

II-16 劇症型心筋炎に対するDoor to Unloading timeと予後との検討
 (筑波大学附属病院循環器内科) 寺内 泰観
 山本 昌良、平谷 太吾、南 健太郎、川松 直人、
 佐藤 希美、渡部 浩明、町野 智子、星 智也、
 石津 智子

II-17 心原性ショックを合併する急性冠症候群の予後：KiCS-PCIレジストリを用いた時系列トレンド解析
 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 大畑 孝憲
 香坂 俊、白石 泰之、植田 育子、小平 真幸、
 沼澤 洋平、家田 真樹
 (杏林大学医学部附属病院循環器内科) 中丸 遼
 (Division of Cardiology, Montefiore Medical Center, Albert Einstein College of Medicine) 工野 俊樹
 (埼玉病院循環器内科) 小野 智彦
 (済生会宇都宮病院循環器内科) 野間 重孝

II-18 HFpEF患者における上腕周囲径と栄養指標、運動耐容能、予後との関連
 (群馬大学医学部附属病院栄養管理室) 下谷 幸
 (群馬大学医学部附属病院循環器内科) 湯浅 直紀、村上 文崇、反町 秀美、石井 秀樹、
 小保方 優

II-19 心不全療養指導士による体成分分析装置を心臓リハビリに使用するための問題点 CTで計測した筋肉量との関連
 (国際医療福祉大学市川病院リハビリテーション室) 勝又 優紀
 小河 裕樹、善田 督史
 (国際医療福祉大学市川病院リハビリテーション科) 久保 仁
 (国際医療福祉大学医学部市川病院循環器内科) 野島 永司、船橋 伸禎

II-20 Dual energy CTでの実効原子番号、電子密度を用いた肺うっ血の検出 TAVR前のAS症例と非心不全症例との比較

(国際医療福祉大学医学部医学科)	星 昂太郎
(千葉西総合病院放射線科)	宿谷 篤
(千葉西総合病院循環器内科)	三角 和雄
(国際医療福祉大学医学部循環器内科)	河村 朗夫
(国際医療福祉大学市川病院循環器内科)	船橋 伸禎

第Ⅲ会場

一般演題 セッション3 腫瘍循環器/先天性

9:00-9:45

座長 (国立国際医療研究センター病院循環器内科) 廣井 透雄

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 小平 真幸

コメンテーター (筑波大学附属病院循環器内科) 川松 直人

Ⅲ-1 腎癌に対するベムプロリズマブおよびレンバチニブ投与中に発症した急性心筋梗塞の一例

(東京都済生会中央病院循環器内科)

谷口 枝穂

平田 直己、宮本 和享、近藤 匠、渡邊 桂子、
藤井 佑樹、遠藤 彩佳、鈴木 健之、長谷川 祐、
高橋寿由樹

Ⅲ-2 悪性腫瘍を背景としたトルソー症候群による脳梗塞を発症し、塞栓源が異なる2症例

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

齋藤 純

福岡 裕人、山田真美子、山本 祐実、小倉 沙綾、
千野 沙織、望月 泰秀、新家 俊郎

(昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門)

三木 綾子、野原 哲人

Ⅲ-3 塞栓症を伴う大動脈内血栓の形成に、血小板増多と腫瘍の併存の関与が示唆された2例

(災害医療センター循環器内科)

杉本百合香

佐々木 毅、臼井 綾香、林 恭二郎、船山遼太郎、
野崎小百美、飯島 洋子、瀬上 将太、土居 惇一、
早坂 和人、榊原 温志、山下 周、近江 哲生、
大野 正和、清水 茂雄

(東京科学大学循環器内科)

笹野 哲郎

Ⅲ-4 ニボルマブの免疫関連有害事象としての心筋炎に重症筋無力症、筋炎を合併し心肺停止となった一例

(飯田市立病院研修医)

赤 俊多郎

(飯田市立病院循環器内科)

井上 航、増田 一摩、辻中 佑介、毛涯 秀一、
赤沼 博、片桐 有一、山本 一也

Ⅲ-5 肺切除術後に著明な低酸素血症をきたした心房中隔欠損症の1例

(筑波大学医学医療系循環器内科)

中川誠太郎

山田 優、稲葉 貴久、川松 直人、佐藤 希美、
山本 昌良、町野 智子、星 智也、石津 智子

Ⅲ-6 心アミロイドーシスを合併し、経皮的デバイス閉鎖により左室拡張障害が改善した心房中隔欠損症の一例

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

長谷川早紀

中島 大輝、松尾 圭祐、湯手 庸道、荒井 隆秀、
中埜信太郎

(埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科)

小島 拓朗、小林 俊樹

一般演題 セッション4 心膜・腫瘍

9:55-10:30

座長 (東京都済生会中央病院循環器内科) 高橋寿由樹

座長 (国際医療福祉大学三田病院循環器内科) 大門 雅夫

コメンテーター (立川病院循環器内科) 影山 智己

Ⅲ-7 胸腹水貯留の鑑別として収縮性心膜炎の診断に至った一例

(東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野)

竹原小百合

(東邦大学医療センター佐倉病院循環器内科)

大野瑠衣子、池田 拓史、野中 翔矢、池田 裕樹、

戸谷 俊介、岩川 幹弘、杉崎 雄太、伊藤 拓朗、

佐藤 修司、中神 隆洋、美甘 周史、高橋 真生、

清水 一寛

(東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野)

佐地 真育、木下 利雄、池田 隆徳

Ⅲ-8 心タンポナーデを契機に胸腺腫と診断され心嚢ドレーナージチューブ抜去による心房穿孔を合併した一例

(新百合ヶ丘総合病院循環器内科/聖マリアンナ医科大学循環器内科)

福村 健太

(新百合ヶ丘総合病院循環器内科)

清川 篤、西尾 祥郎、工藤 侃、原 果里奈、

田仲 明史、秋元 耕、福島 琢、高橋 良英、

櫻井 馨

(新百合ヶ丘総合病院心臓外科)

齋藤 正博

(総合東京病院心臓血管外科)

前場 覚

Ⅲ-9 大動脈基部の悪性腫瘍に伴う急性発症の大動脈弁閉鎖不全症と繰り返す急性冠症候群の一例

(横浜市立市民病院循環器内科)

宅間 佳歩

樫村 晋、増田 光佑、小澤 貴暢、田中 誠、

北島 龍太、山下 皓正、酒井 正憲、新村 大輔、

福本耕太郎、小浦 貴裕、根岸 耕二

(横浜市立市民病院心臓血管外科)

飯塚 森哉、奥津 康子、山下 直哉、松本 淳、

笠間啓一郎、浦中 康子

Ⅲ-10 心臓腫瘍に合併した持続性心室頻拍に対して植込み型除細動器移植術を施行した1例

(三井記念病院)

根本 脩平

堀内 優、金沢 舞香、郷野 瑞希、横島 健人、

下野 里奈、土井 脩平、桂 茉衣、杉山 晴紀、

三輪晋太郎、西村 陽平、権田 勇樹、芦浦 大輝、

阿佐美匡彦、谷脇 正哲、湯澤ひとみ、小宮山浩大、

田中 旬、田邊 健吾

Ⅲ-11 Acute massive pulmonary thromboembolismの臨床経過で受診した血管内膜肉腫の一例

(東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科)

古川 亜実

野口 将彦、小船井光太郎

(東京ベイ・浦安市川医療センター心臓血管外科)

崔 容俊、伊藤 丈二

(国立循環器病研究センター病理部)

雨宮 妃、池田 善彦、畠山 金太

学術委員会企画セッション

10:40-12:10

座長（慶應義塾大学臨床検査医学） 鶴田ひかる
座長（心臓画像クリニック飯田橋） 寺島 正浩

心臓イメージング技術の進歩と心筋病変の診断に迫る

心エコー分野における最新技術と、心筋症診療におけるストレイン解析の役割

（慶應義塾大学医学部循環器内科）

品田慶太郎
松村 聡人、白川 公亮、岡田麻里奈、遠藤 仁、
家田 真樹
鶴田ひかる

（慶應義塾大学臨床検査医学）

心臓MRIにおけるイメージング技術進歩の臨床応用と心筋病変の診断

（心臓画像クリニック飯田橋循環器内科）

高村 千智

CTを用いた心筋評価の最新動向と今後の展望

（横浜市立大学附属病院放射線診断科）

加藤 真吾

ランチョンセミナー 3

12:20-13:10

共催：第一三共株式会社

座長（慶應義塾大学医学部循環器内科）木村 雄弘

「超高齢社会の循環器診療～慢性冠症候群と心房細動～」

（川崎医科大学循環器内科学）

上村 史朗

第21回ダイバーシティ・フォーラム

13:20-14:50

座長（帝京大学医学部内科学講座・循環器内科）上妻 謙

座長（山梨大学医学部附属病院循環器内科）佐藤 明

ディスカッサント（国際医療福祉大学大学院特定行為看護学専攻分野/三田病院心臓血管センター）栗田 康生

ディスカッサント（東京大学医学部附属病院循環器内科/コンピュータ画像診断学・予防医学講座）新保 麻衣

メディカルスタッフと共に進める働き方改革

心臓リハビリテーションのメディカルスタッフによるタスク・シフト/シェアの推進

（北里大学病院リハビリテーション部）

濱崎 伸明

臨床工学技士がタスクシフト/シェアで出来ることは？

（東京医科大学八王子医療センター臨床工学部）

村澤 孝秀

（東京医科大学八王子医療センター循環器内科）

久保 隆史、田中 信大

診療放射線技師業務とタスクシフト・シェア

（榊原記念病院放射線科）

栗原まき子

当院での診療看護師（NP）の取り組み ～植込み型心臓不整脈デバイス患者のトータルケアとタスクシフト～

（杏林大学医学部循環器内科学診療看護師（NP））

前田 明子

デザートセミナー 3

15:00-15:50

共催：アストラゼネカ株式会社/小野薬品工業株式会社

座長（東京女子医科大学病院循環器内科）南 雄一郎

慢性心不全の診断と治療

『Risk-based Approach in Heart Failure』

（慶應義塾大学医学部循環器内科）

白石 泰之

臨床研究セミナー
16:00-17:00

座長（聖路加国際病院循環器内科） 浅野 拓
座長（日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科）山本 剛
座長（慶應義塾大学医学部循環器内科）大畑 孝憲

ここまで進んだ大規模データ解析：この研究の工夫はここだ！

【東京都CCUネットワーク】急性心不全入院を「予報」する：気候情報を用いた深層学習による予測モデルの構築

（東京大学医学部附属病院循環器内科/東京都CCUネットワーク学術委員会） 神馬 崇宏
（東京都CCUネットワーク学術委員会） 原田 和昌、香坂 俊、山本 剛、高山 守正

【JCD-KiCS】予測モデルをどう評価するか？：Discrimination, Calibration, and more

（東京医療センター総合内科） 新美 望

【J-PCI】学会主導型の全国レジストリからの知見：Benchmarking System の検証

（千葉大学医学部附属病院循環器内科） 齋藤 佑一

全ては信頼できるデータがあつてこそ：臨床研究におけるデータ収集のポイントとピットフォール

（慶應義塾大学医学部循環器内科） 植田 育子

第Ⅳ会場

一般演題 セッション5 デバイス

9:00-9:30

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 山崎 浩
座長 (千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 仲野 美代
コメンテーター (防衛医科大学校病院循環器内科) 池上 幸憲

IV-1 デリバリーカテーテルが変形するもスネアを併用することでリードスペースメーカーが留置可能であった1例

(藤沢湘南台病院循環器内科) 大野 哲
中田 明道、結城 翔多、中村 悠城、福島 裕介

IV-2 当院におけるIVL使用症例の検討

(君津中央病院循環器内科) 石木田修平
外池 範正、尾崎 僚、山浦 貴士、寺林 郁人、
葛 備、高原 正幸、石村 昌之、兵頭 裕介、
田中 秀造、芳生 旭志、山本 雅史、氷見 寿治

IV-3 ペースメーカー植込み8年後にリード穿孔による心タンポナーデをきたした一例

(関東労災病院) 中村 愛
渡邊 則和、吉川 浩介、鈴木 健悟、宮田 貴之、
佐藤 俊弥、小倉 邦弘、吉竹功央一、大星 麻衣、
柴田 正行、並木 淳郎

IV-4 デジタル検査装置「Q vix」によるステント再狭窄の成績向上に向けて

(株式会社フィジックテクノロジー) 齋藤 良治
清水 徳仁

一般演題 セッション6 心不全2/地域医療

9:45-10:30

座長 (日本医科大学付属病院循環器内科) 村田 広茂
座長 (筑波大学医学部循環器内科) 山本 昌良
コメンテーター (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 栗屋 徹

IV-5 大動脈ステントグラフト狭窄による心不全の一例

(埼玉病院研修医) 津波古貴也
(埼玉病院循環器内科) 鶴見 昌史、安藤 昂志、玉置 博之、間瀬 太朗、
井合 渉、栗原 和人、磯田 徹、丹羽 直哉、
佐藤 篤志、田中 宏明、小野 智彦、松村 圭祐

IV-6 血管硬化指標%MAPは心不全患者において長期予後予測に有用である

(防衛医科大学校病院循環器内科) 水谷 航太
長友 祐司、河合 茜、岩下 碧、樽岡 輝、
中澤 亮太、竹藤亜紗子、池上 幸憲、東谷 卓美、
足立 健
(防衛医科大学校病院集中治療部) 安田理紗子、眞崎 暢之

IV-7 左心耳内血栓と心筋梗塞後の左室内血栓に対してワルファリンとアピキサバンの抗血栓作用が異なった一例

(立川病院循環器内科) 山崎 雄友
江頭 徹、三田村秀雄、森谷 和徳、柴田 勝、
影山 智己、伊倉 秀彦、中野順之佑、吉野 優一

IV-8 連続流型左室補助人工心臓植込後に合併した重篤な大動脈基部血栓症の一例

(日本大学医学部循環器内科) 松倉 秀
八田 拓海、小嶋 啓介、新井 陸、村田 伸弘、
奥村 恭男
(日本大学医学部心臓血管外科) 瀬在 明

IV-9 原因不明の左室収縮能の保たれた進行性の心不全を呈し、心筋生検で診断し得たALアミロイドーシスの1例

(東京医療センター循環器内科) 高口 知之
坂本 宗久、角南 佑季、曾 充人、川島 瞬、
吉永 薫、青山 真之、角田那由香、西村 崇文、
宮崎 良央、稲川 浩平、谷本 陽子、谷本耕司郎、
樺山 幸彦

IV-10 東京都内循環器急性期病院における心臓病患者支援：脳卒中心臓病等総合支援センターによるアンケート調査

(榊原記念病院) 磯部 光章
(榊原記念病院循環器内科) 中山 敦子
(日本医科大学循環器内科) 浅井 邦也
(日本医科大学心臓血管集中治療科) 山本 剛
(日本医科大学脳神経内科) 木村 和美
(武蔵野赤十字病院循環器内科) 足利 貴志

災害対策委員会企画セッション

10:40-12:10

座長 (千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 小林 欣夫
座長 (日本医科大学付属病院循環器内科) 浅井 邦也

災害対応における循環器学会の役割：関連学会との協働

第2期循環器病対策推進基本計画と災害時等を見据えた対策について

(厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課) 鶴田 真也
九十九悠太、多田 美帆、宮川 淳美

能登半島地震における災害対策医療～1年後の反省～

(金沢大学循環器内科) 高村 雅之

平時の医療の延長に災害医療がある：災害関連死ゼロを目指して

(日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野) 横堀 将司

大規模災害時における日本静脈学会の取り組みについて～静脈血栓塞栓症による災害関連死を防ぐ～

(JCH南海医療センター心臓血管外科/日本静脈学会・災害対策委員会) 岩田英理子
(日本静脈学会・災害対策委員会) 植田 信策、孟 真

ランチオンセミナー 4

12:20-13:10

共催：MSD株式会社
座長 (東京医科大学病院循環器内科) 山下 淳

「CTEPH治療戦略 up to date」

(慶應義塾大学医学部循環器内科) 安西 淳

一般演題 セッション7 虚血性心疾患1

13:20-14:05

座長 (栃木県済生会宇都宮病院循環器内科) 下地 顕一郎
座長 (東京科学大学循環器内科) 米津 太志
コメンテーター (獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科) 西野 節

IV-11 右冠動脈の慢性完全閉塞病変を含む不安定狭心症にて来院し、待機的PCI施行時に閉塞病変の再疎通を認めた1例

(聖隷横浜病院心臓血管センター内科) 仙波 貴之
長谷川和喜、中島 啓介、河合 慧、新村 剛透、
芦田 和博

IV-12 心筋梗塞に伴う心尖部瘤に非典型的な心エコー所見を呈する心内血栓を合併した1例

(聖路加国際病院内科/手稲溪仁会病院循環器内科) 川木 雄斗
(手稲溪仁会病院循環器内科) 岩野 弘幸、川初 寛道、宇津木貴成、土井 崇裕、
小室 薫、湯田 聡
(手稲溪仁会病院臨床検査部) 三浦 善恵、工藤 朋子、石川 峰嗣

IV-13 たこつば型心筋症に冠攣縮性狭心症と微小循環障害が関与した1例

(平塚共済病院) 中田 光宥
吉川 宏、羽生 佳弘、新井 亮太、宮崎 絃子、
秋吉 基光、飯谷 宗弘、荒木 恵子、岩井 慎介、
小林 一士、大西 祐子

IV-14 心室中隔閉鎖術後の遠隔期にパッチ感染が原因で左室自由壁破裂を呈した1例

(帝京大学医学部心臓血管外科) 林 拓人
迎 洋輔、浅野慎之助、今泉 勇人、黒澤健一郎、
安斎 渉、齋藤 真人、植原 裕雄、津村 康介、
陳 軒、尾澤 直美、内山 雅照、今水流智浩、
下川 智樹

IV-15 左冠動脈主幹部の石灰化結節がステント内に再突出し急性ステント血栓症が続発した1例

(小川赤十字病院循環器内科) 池口 琴乃
村上 司、竹ノ谷正徳
(小川赤十字病院循環器内科/日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 小嶋 啓介

IV-16 たこつば型心筋症様の变化を生じ2核種同期心筋シンチグラフィーが診断に有用であったKounis症候群の1例

(船橋市立医療センター心臓血管センター循環器内科) 堀江 華奈
青山 里恵、宇川 達貴、渡邊 悠斗、須藤 洋尚、
林 智彦、丘 慎清、飯高 一信、内山 貴史、
岩田 曜、石脇 光、沖野 晋一、福澤 茂

一般演題 セッション8 虚血性心疾患2

14:15-15:00

座長 (埼玉病院循環器内科) 松村 圭祐
座長 (日本医科大学付属病院循環器内科) 時田 祐吉
コメンテーター (東邦大学医療センター大森病院循環器内科) 大久保 亮

IV-17 急性冠症候群の疑いより褐色細胞腫の診断に至った1例

(虎の門病院循環器センター内科) 松下 友哉
藤本 陽、藤原 秀臣、森瀬 昌裕、大森 奈美、
伊東 秀崇、小宮山知夏、播磨 綾子、山口 徹雄、
西山 信大、太田 光彦、児玉 隆秀

- IV-18 ECPELLA管理を含む集学的治療により救命しえた心筋梗塞後心室中隔穿孔の一例
 (筑波大学医学医療系循環器内科) 松井瑠璃子
 渡部 浩明、稲葉 貴久、南 健太郎、平谷 太吾、
 星 智也、石津 智子
- IV-19 focal type たこつぼ心筋症とMINOCAの診断に苦慮したが各種モダリティによりMINOCAであろうと診断した一例
 (昭和大学藤が丘病院医師臨床研修センター) 折笠真由子
 (昭和大学藤が丘病院循環器内科) 間瀬 浩、呉 元喜、沼尻 祐貴、近江 真歩、
 石井 優紀、谷崎 友香、大村 歩、曾根 浩元、
 武井 洋介、田代 一真、倉田 征昭、小貫 龍也、
 森 敬善、土至田 勉、磯 良崇、江波戸美緒、
 鈴木 洋
 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院循環器内科) 辻内 美希、南雲さくら
 (昭和大学藤が丘病院集中治療科) 佐藤 督忠
- IV-20 外科的治療により救命し得た左冠動脈主幹部瘤破裂の一例
 (横浜医療センター循環器内科) 菊池 健介
 前田 遼造、堀内 充、武久 佳央、日丸 陽介、
 菊池 春香、廣部 航平、塚本 圭、齋藤 貴士、
 森 文章
 (横浜医療センター心臓血管外科) 久米 悠太、盆子原幸宏
 (横浜医療センター心臓血管外科/山梨県立中央病院心臓血管外科) 佐藤 大樹
- IV-21 Primary PCI後急性期に形成された巨大左室内血栓にHITの関連が疑われた一例
 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 中島 大輝
 保谷 洋貴、高橋 一朗、武藤 康輔、松本 慧、
 永井 充伸、本澤 遥、松尾 圭祐、長谷川早紀、
 関 要、野本美智留、荒井 隆秀、中埜信太郎
- IV-22 若年女性の不安定狭心症に対し経皮的冠動脈形成術を施行した線維筋性異形成 (FMD) が疑われた1例
 (JAとりで総合医療センター) 村上 愛実
 服部英二郎、山本 貴信、鈴木 雅仁

一般演題 セッション9 心筋炎・心筋症
15:10-16:00

座長 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 岡田 将
 座長 (北里大学病院医学部循環器内科) 石井 俊輔
 コメンテーター (東海大学医学部附属病院循環器内科) 伊地知 健

- IV-23 左室流出路狭窄を併発し、心原性ショックをきたしたたこつぼ型心筋症の一例
 (JCHO東京新宿メディカルセンター) 藏田愛央伊
 上西 将之、坂本 知也、下地 由華、佐藤 弘典、
 檜崎 容史、谷地 織、斉藤 哲也
- IV-24 拡張型心筋症に対するTI/BMIPP二核種心筋シンチグラフィ
 (湘南厚木病院循環器内科) 原田 裕子
 (湘南厚木病院心臓血管外科) 榎 健司朗、向井ななみ、豊田 真寿

- IV-25 左室流出路狭窄(LVOTO)の病態評価に運動負荷心エコーが有用だった一例
 (三井記念病院教育研修部) 森田 峻介
 (三井記念病院循環器内科) 権田 勇樹、伊藤 和繁、下野 里奈、三木 広亮、
 土井 脩平、桂 茉衣、杉山 晴紀、三輪晋太郎、
 松本 卓也、西村 陽平、根本 脩平、芦浦 大輝、
 堀内 優、阿佐美匡彦、谷脇 正哲、湯澤ひとみ、
 小宮山浩大、田中 旬、田邊 健吾
- IV-26 全身性エリテマトーデスに伴う心筋症の一例
 (獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科) 黒崎 時生
 西川 理彦、先川はるか、上原 大毅、綿引 愛美、
 渡邊 諒、正和 泰斗、伊波 秀、有川 拓男、
 八木 博、豊田 茂
- IV-27 血栓性微小血管症を契機に発症した急性心筋炎の一例
 (東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科) 箱島 開智
 木村 悠、多賀宇太郎、大井 悠平、柏木 雄介、
 吉村 道博
- IV-28 IMPELLAおよびステロイドパルス療法が著効した劇症型好酸球性心筋炎の一例
 (練馬光ヶ丘病院) 久保田康平
 伴 聡一郎、山本 慶、久米 悠介、佐藤みどり、
 大久保雄右、赤池 永成、齋藤 大樹、間瀬 卓頭、
 佐藤 陽、荒尾憲司郎
- IV-29 スキューバダイビング後にたこつぼ型心筋症を発症した1例
 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 加藤 豪浩
 福山 千仁、浅見 雅子、池田 長生、林 典行、
 飯島 雷輔、原 英彦

デザートセミナー 4

16:10-17:00

共催：日本メドトロニック株式会社

座長 (慶應義塾大学医学部不整脈先進治療学寄附研究講座) 高月 誠司

「リードレスペースメーカー“Micra”の今を知る」-患者選択から安全留置のpointまで-

(東京慈恵会医科大学附属病院) 徳竹 賢一

第V会場

一般演題 セッション10 弁膜症

9:15-10:15

座長 (東京女子医科大学循環器内科) 山口 淳一

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 星 智也

コメンテーター (横浜市立市民病院循環器内科) 田中 誠

V-1 薬物治療に加えて右冠動脈の血行再建が機能性僧帽弁閉鎖不全の制御に有効と考えられた一例

(埼玉病院循環器内科) 玉置 博之

小野 智彦、安藤 昂志、間瀬 太朗、井合 渉、

栗原 和人、磯田 徹、丹羽 直哉、佐藤 篤志、

田中 宏明、鶴見 昌史、松村 圭祐

V-2 術後早期に僧帽弁位生体弁機能不全を来した一例

(埼玉病院循環器内科) 間瀬 太朗

丹羽 直哉、安藤 昂志、玉置 博之、井合 渉、

栗原 和人、磯田 徹、佐藤 篤志、田中 宏明、

鶴見 昌史、小野 智彦、松村 圭祐

(埼玉病院心臓血管外科) 横山 祐磨、志水 秀彰、配島 功成

V-3 乳頭筋機能不全により急性の重症僧帽弁逆流をきたしたNSTEMIの一例

(ひたちなか総合病院循環器内科) 土屋 亮介

(筑波大学医学医療系循環器内科) 山本 昌良、南 健太郎、石津 智子

V-4 高齢の連合弁膜症に対して術前、術中の血行動態を考慮して治療戦略決定し、カテーテル治療が奏功した症例

(東邦大学医学部医学科) 布施 杏珠

(東邦大学内科学講座循環器内科学分野 (大橋)) 橋本 剛、新倉 寛輝、林 典行、池田 長生、

中村啓二郎、飯島 雷輔、原 英彦

(東邦大学循環器疾患低侵襲治療学講座) 中村 正人

V-5 スtentグラフト留置後の急性大動脈解離、冠動脈閉塞に対して、経食道心エコーガイド下PCIが成功した一例

(東邦大学医学部医学科) 市川 周

(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 佐藤 学、橋本 剛、林 典行、新倉 寛輝、

池田 長生、國正 妙子、中村啓二郎、飯島 雷輔、

原 英彦

V-6 経カテーテル大動脈弁植え込み術後に、溶血性貧血とコレステロール塞栓を生じステロイドが著効した1例

(前橋赤十字病院心臓血管内科) 安藤 和秀

峯岸美智子、梶原 啓吾、五十嵐宏伸、児玉 智華、

西尾 理沙、富澤 美夏、岡田 英樹、佐々木孝志、

小林 洋明、庭前 野菊

V-7 三尖弁形成術におけるカテーテル治療と手術治療の比較：米国メディケアデータベース解析

(筑波大学附属病院初期研修医) 霜田 智成
(Division of Cardiology, Emory University School of Medicine) 上山 紘生
(東京大学腎臓・内分泌内科) 宮本 佳尚
(Department of Medicine Icahn School of Medicine at Mount Sinai, Mount Sinai Beth Israel) 渡邊 淳之
(Division of General Internal Medicine, Cedars-Sinai Medical Center) 五反田紘志
(Division of General Internal Medicine and Health Services Research, David Geffen School of Medicine at UCLA) 津川 友介
(Cardiology Division, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School) 工野 俊樹

V-8 右室二腔症を合併した重症大動脈弁狭窄症に対してTAVIを施行した1例

(済生会宇都宮病院循環器内科) 伊崎慶史郎
八島 史明、平山 愛子、山口 雄己、佐藤 允俊、
松村 英斉、鈴木 崇仁、吉島 信宏、岩堀 浩也、
金田 宇行、西田 裕明、古瀬 領人、森 健支、
横田 裕之、下地顕一郎
(慶應義塾大学医学部循環器内科) 鶴田ひかる
(済生会宇都宮病院心臓血管外科) 橋詰 賢一

一般演題 セッション11 心内膜炎／末梢血管

10:25-11:00

座長 (東海大学医学部心臓血管外科) 長 泰則
座長 (筑波メディカルセンター病院循環器内科) 相原 英明
コメンテーター (埼玉病院循環器内科) 小野 智彦

V-9 右心系感染性心内膜炎からの肺塞栓症を合併した一例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 岩崎 俊充
宇賀田裕介、林 達哉、大橋 潤平、山本 真吾、
牧 尚孝、藤田 英雄

V-10 TAVI後、PVEの診断に苦慮した一例

(東京女子医大病院循環器内科) 三上 朝賀
春木 薫、田中友佳子、中尾梨沙子、齋藤 千紘、
芦原 京美、山口 淳一
(東京女子医大病院病理診断科) 吉澤佐恵子

V-11 レオカーナおよび高気圧酸素療法が奏功した非透析重症上肢虚血の1例

(総合高津中央病院心臓血管センター) 山内 靖隆
久原 亮二、高木 友誠、福田 正浩、中西 亨、
宮本 明

V-12 膝窩動脈瘤閉塞による急性下肢虚血に対しINDIGOシステムによる血栓吸引と血栓溶解療法により救肢した一例

(SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科) 齋藤理香子
武中 宏樹、横森 広樹、渡邊 宏哉、齋藤 翔太、
北野 奨真、鮫島 雄祐、矢部 顕人、根本 尚彦、
安齋 均

V-13 スtentグラフト内挿術によりjailedされた腎動脈を経皮的血管形成術で血行再建した一例

(広尾病院循環器科) 宮本 温
土山 高明、横関 文弥、本間 正直、三浦麻利衣、
砂川 昌隆、津野 航、水沼 吉章、佐々木高史、
山岡広一郎、鯨岡 裕史、新井 智之、吉田 精孝、
笠野 健介、高橋 正雄、北條林太郎、深水 誠二

一般演題 セッション12 大動脈/静脈

11:10-12:10

座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科) 山口 敦司

座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 武田 憲文

コメンテーター (防衛医科大学校病院循環器内科) 安田理紗子

V-14 造影CTで偶発的に指摘された上行大動脈内血栓症に対して上行弓部大動脈人工血管置換術を施行した一例

(草加市立病院循環器内科)

粟根 隆介

稲垣 裕、伊志嶺百々子、田代 榛、

戸舎 稚詞、須藤 悠太、古浦 賢二、岡田 寛之、

土信田伸夫

(草加市立病院心臓血管外科)

櫻井 翔吾、渡邊 正純

(東京科学大学循環制御内科学)

笹野 哲郎

V-15 NajutaによるZone 0 TEVAR後のエンドリークに対して全弓部人工血管置換術を行った1例

(榊原記念病院心臓血管外科)

石堂 耕平

角 康平、尹 亮元、大野 真、中原 嘉則、

岩倉 具宏

(小倉記念病院心臓血管外科)

丸井 晃

V-16 Bentall術後グラフト感染に対し部分的に人工血管を温存可能であった一例

(東京慈恵会医科大学心臓外科学講座)

高木 智充

儀武 路雄、松村 洋高、前田 恵、辻本 貴紀、

石割 圭一、國原 孝

V-17 Clinically isolated aortitisと診断され免疫抑制療法により良好な経過をたどった2症例の報告

(榊原記念病院循環器内科)

高口 麻丹

細谷 弓子、矢崎海基人、七里 守、新田 順一、

磯部 光章

(榊原記念病院心臓血管外科)

岩倉 具宏

V-18 急性大動脈解離により灌流障害を来した上腸間膜動脈に対しステント留置を行い救命し得た一例

(日本医科大学千葉北総病院集中治療室)

井上 莉沙

谷 憲一、古澤 佳明、澤島 摩那、諸岡 雅城、

澤谷 倫史、西郡 卓、鳴原 祥太、白壁 章宏

(日本医科大学千葉北総病院放射線科)

嶺 貴彦

(日本医科大学付属病院循環器内科)

浅井 邦也

V-19 肺動脈血栓を発症した膝窩静脈瘤に対して、外科的治療を行った1例

(帝京大学ちば総合医療センター心臓血管外科)

久保木秀幸

松下 明仁

V-20 ナットクラッカー症候群に対して静脈ステント留置を行い、奏功した一例。

(国立国際医療研究センター循環器内科)

福田 泰生

廣井 透雄、原 久男、山本 正也、岡崎 徹、

榎本 善成、中川 堯、久保田修司、三宅 渉、

和田 瑞貴

V-21 Stanford B型大動脈解離の亜急性期に孤立性下大静脈血栓を認めた一例

(SUBARU健康保険組合太田記念病院)

北爪 舞

北野 奨真、根本 尚彦、齋藤理香子、渡邊 宏哉、

横森 広樹、齊藤 翔太、鮫島 雄祐、矢部 顕人、

武中 宏樹、安齋 均

ランチョンセミナー 5

12:20-13:10

共催：日本ペーリンガー・インゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社
座長（慶應義塾大学医学部循環器内科）香坂 俊

心腎連関

「パラレルに進行する心腎不全、心腎保護のための早期治療介入」

（東京医科大学病院循環器内科） 小林 正武

一般演題 セッション13 不整脈

13:20-14:05

座長（筑波大学医学医療系循環器内科）五十嵐 都

座長（日本医科大学付属病院循環器内科）岩崎 雄樹

コメンテーター（東京医療センター循環器内科）稲川 浩平

V-22 Communicating veinに対するchemical ablationの注意点を考察できたLV summit 起源心室期外収縮の一例

（土浦協同病院循環器内科）

峯尾 堯

久佐 茂樹、田原 智大、石沢 太基、平野 秀典、

仲田 恭崇、原 聡史、佐藤 慶和、三輪 尚之、

蜂谷 仁

V-23 左心耳切除後、心房粗動再発に伴い左房内血栓が出現した一例

（町田市民病院循環器内科）

渡辺 友樹

佐々木 毅、木村 峻輔、矢崎 麻由、美蘭田 純、

竹村 仁志、池田 泰子

V-24 頻拍機序の診断が困難であった、左室後乳頭筋起源心室頻拍の1例

（AOI国際病院循環器内科）

白井 康大

川端美穂子、米内 竜、鎌田 龍明、川島 朋之、

平尾 見三

（横浜みなと心臓クリニック）

沖重 薫

（東京科学大学循環器内科）

笹野 哲郎

V-25 高齢で失神発作を起こしたBrugada症候群の1例

（自治医科大学循環器内科）

小淵 雄大

甲谷 友幸、奥山 貴文、渡邊 裕昭、横田 彩子、

上岡 正志、渡部 智紀、小森 孝洋、牧元 久樹、

今井 靖、荻尾 七臣

V-26 ピルメノール中毒による心室頻拍に対して一時的ペーシングが有効であった一例

（高崎総合医療センター）

瀬田 博貴

大駒 直也、柴田 悟、羽鳥 直樹、高橋 伸弥、

小林 紘生、村田 智行、太田 昌樹、福田 延昭、

広井 知歳

V-27 経大動脈的な僧帽弁上アプローチにて根治しえた左室流出路起源心室期外収縮の1例

（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科）

小田 惇仁

加藤 祐樹、岩佐 一輝、安井 由美、喜舎場順一、

河本 梓帆、大方信一郎、新井 紘史、村田 和也、

佐川雄一朗、浅野 充寿、志村 吏左、有馬 秀紀、

倉林 学、山内 康照

教育セッションⅡ

14:30-16:00

座長 (自治医科大学学長) 永井 良三
総合司会 (大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター特任教授) 瀧原 圭子

『医療AI研究プラットフォーム』

「内閣府SIPプロジェクト：医療ビッグデータシステム・医療AIの現状と課題」
(自治医科大学学長) 永井 良三

「近未来の医療データ基盤の構築に向けて一本格的な医療LLMと医療LMMがようやく動き出すことになった日本の新しい時代において、臨床医に期待される役割について」
(情報・システム研究機構機構長, 東京大学特別教授) 喜連川 優

デザートセミナー 5 16:10-17:00 共催：ニプロ株式会社/アボットメディカルジャパン合同会社
座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎
インターベンションを尽くしたその先に～ LVADという選択肢が治療戦略を変える～

変わるPCI後の治療～ LVADが提供する新たな出口戦略
(東京科学大学循環器内科) 米津 太志

LVAD DTにより広がる虚血性心筋症への治療選択肢
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 野本美智留

一般演題 セッション14 心不全3/虚血性心疾患3
17:10-17:55

座長 (虎の門病院循環器センター内科) 児玉 隆秀
座長 (東京医科大学茨城医療センター循環器内科) 金澤 英明
コメンテーター (慶應義塾大学医学部循環器内科) 木村 舞

V-28 V-V ECMOサポート下に気道確保し手術を行った、良性巨大甲状腺腫瘍の一例
(群馬大学医学部循環器内科) 岩淵 舞
反町 秀美、石尾洵一郎、天内 士郎、小坂橋紀通、
石井 秀樹

V-29 非ST上昇型心筋梗塞に対してPCI施行中にショックバイタルに陥った正常血糖ケトアシドーシスの一例
(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座) 土屋 陽平
加藤 隆生、藤本 雄大、佐藤瑛一郎、小西 宏和、
内藤 亮、岡井 巖、林 英守、南野 徹

V-30 低心拍出症候群によるショック腎などで長期的な透析を必要としたが腎機能の改善を認めた一例
(日本医科大学付属病院循環器内科) 寺門 誠雄
久保田芳明、藤本 雄飛、太良 修平、岩崎 雄樹、
浅井 邦也
(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 高橋 慶仁、伊藤 紳晃、木村 徳宏、中田 淳、
宮地 秀樹、山本 剛

V-31 経食道心エコープローブにより右梨状窩血腫を来した一例
(国際医療福祉大学病院循環器内科) コン ボレイ
佐藤 公一、武田 守彦、池田 尚平、篠崎真莉子、
三木 景太、平野 道基、福田 浩二

V-32 特発性冠動脈解離の治療に難渋した一例
(戸田中央総合病院心臓血管センター内科)

松岡佳和璃
森 かおり、永松 侑樹、堀中 遼、池部 裕寧、
土方 伸浩、元田 博之、湯原 幹夫、小堀 裕一、
武田 和大

V-33 診断に難渋した左室中隔巨大壁在血栓の一例
(日本大学医学部板橋病院循環器内科)

井上 健一
渡邊 隆大、八田 拓海、江渕 康柔、小嶋 啓介、
北野 大輔、依田 俊一、奥村 恭男

榊原記念研究助成 研究成果発表会

第20回 榊原記念研究助成 研究成果発表会を下記のとおり開催いたします。

13:00～16:00 / 4階 402A、6階 第V会場
共催：第274回日本循環器学会関東甲信越地方会

<式次第>

- 理事長挨拶 13:00～13:10
 - 第22回榊原記念研究助成 採択者 贈呈式 13:10～13:20
 - 第20回榊原記念研究助成 研究成果発表会 13:20～14:05
- 座長（国際医療福祉大学副学長・東京大学特任教授）小室 一成

『コロナ感染、コロナワクチンにおける心筋炎、心膜炎に関する研究』（発表は1題10分、質疑応答は5分）

クローン性造血による新型コロナウイルス感染症に伴う心筋炎発症メカニズムの解明
（名古屋大学医学部附属病院循環器内科） 由良 義充

CTによる新型コロナウイルスおよびコロナワクチンに関連する心臓後遺症の包括的評価法の確立
（自治医科大学附属さいたま医療センター放射線科） 相川 忠夫

マウスモデルを用いたCOVID-19における心筋炎・心膜炎の病態解析
（広島大学原爆放射線医科学研究所疾患モデル解析研究分野） 三浦 健人

《コーヒーブレイク & 第V会場（6階）へ移動（25分）》

《第20回記念特別企画講演》 14:30～16:00 / 6階 第V会場

『医療AI研究プラットフォーム』

総合司会（大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター特任教授） 瀧原 圭子

Introduction：「内閣府SIPプロジェクト：医療ビッグデータシステム・医療AIの現状と課題」

座長（自治医科大学学長） 永井 良三

特別講演および質疑応答：

「近未来の医療データ基盤の構築に向けて一本格的な医療LLMと医療LMMがようやく動き出すことになった日本の新しい時代において、臨床医に期待される役割について」

講師（情報・システム研究機構機構長/東京大学特別教授） 喜連川 優

※本講演は、第274回日本循環器学会関東甲信越地方会プログラムの「教育セッションⅡ」（単位取得可）となっております。

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第11条 各地方会に会長1名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第12条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第13条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第14条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年1回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第15条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都新宿区笹岡町43 新神楽坂ビル2F 有限会社ビジョンブリッジ内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、支部規程第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(副支部長)

第4条 本支部に副支部長1名を置く。

- 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
- 支部長に事故あるとき、又は支部長が別の支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。
- 副支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を順守しなければならない。

(支部役員)

第5条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第6条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。

4. 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない
5. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第7条

2. 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC講習会担当幹事1名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事1名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 支部事務局担当幹事ならびにJCS-ITC担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

第8条

2. 支部規程第10条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より15日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の3項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65歳以下で7年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去5年間に3演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

(地方会会長)

第9条

2. 支部規程第11条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より15日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自

己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。

5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもので利用出来ない体制を構築しなければならない。
10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第10条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

第11条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第12条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。

10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めたとおりとする。

(JCS-ITC 講習会)

第13条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）

11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め(漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認)の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

第14条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

令和5年10月1日一部改定

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。
2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。
2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。
1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。
- 2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。
- 3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。
- 4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

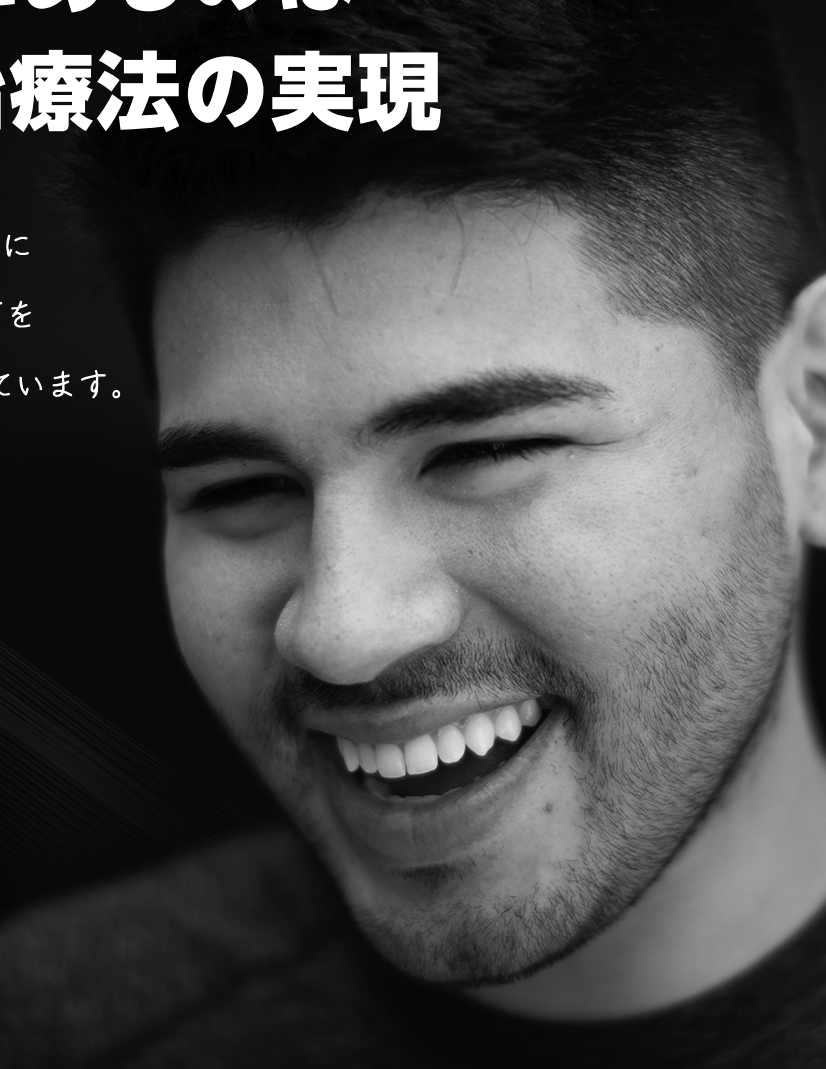
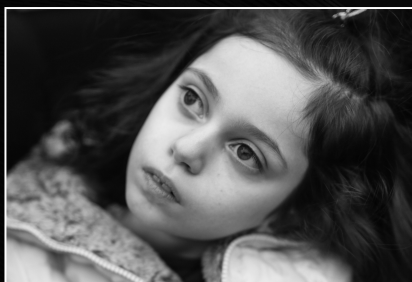
第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

情熱の先にあるのは より良い治療法の実現

アミカスは、希少疾患とともに
生きる患者さんの生活の質を
より良くすることを使命としています。



FABRY FACTS

医療従事者向けファブリー病情報サイト

ファブリーファクト

検索

**FABRY
CONNECT**

患者さん向けファブリー病情報サイト

ファブリーコネクト

検索

 **Amicus**
Therapeutics®

最先端の治療法で希少疾患に挑む

アミカス・セラピューティクス株式会社

VARIPULSE®

Platform

Own
the Field
with
CARTO®



VARIPULSE®

Catheter

販売名: VARIPULSEバルスフィールドアブレーションカテーテル
医療機器承認番号: 30500BZX00294000
販売名: TRUPULSEジェネレーター
医療機器承認番号: 30500BZX00295000
販売名: バイオセンスCARTO 3
医療機器承認番号: 22200BZX00741000

製造販売業者:
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー バイオセンス ウェブスター事業部
〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号
受注専用フリーダイヤル/FAX.0120-450-048 TEL.0120-807-930

TRUPULSE®

Generator



Johnson & Johnson
MedTech

 Biosense Webster®

©J&JKK 2024 JP_BWL_THER_355101



すべては、
患者様の健康のために。

ヴェルツでは、心臓カテーテル領域を中心に
現代医療に欠かせない、各種医療機器を
ご提案いたします。



株式会社 ヴェルツ 東京都世田谷区喜多見三丁目16番10号 <http://www.welts.info/company.html>

Creating a world where
healthcare has no limits



GE HealthCare

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

【受付時間】 9:00~18:00 ※土・日・祝を除く

gehealthcare.com

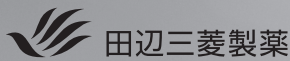
JB09455JA

選択肢をつくる。 希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、
まだ選択肢が足りない世界があります。
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、
たくさんの希望につながります。
だから、田辺三菱製薬はつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
薬づくりの力を生かして、
さまざまな分野で、挑みつけていきます。
そこに待っている人がいるかぎり。



<https://www.mt-pharma.co.jp/>



NOVARTIS



アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)

薬価基準収載

エンレスト 錠 50mg
100mg
200mg
粒状錠 12.5mg
小児用 31.25mg

Entresto[®] Tablets
Granules サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物製剤

処方箋医薬品 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、
禁忌を含む注意事項等
情報等につきましては
電子添文をご参照ください。

製造販売(輸入)

(文献請求先及び問い合わせ先)

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイレクト

TEL: 0120-003-293

受付時間: 月~金 9:00~17:30 (祝日及び当社休日を除く)

販売情報提供活動に関するご意見

TEL: 0120-907-026

提携

大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先

大塚製薬株式会社 医薬情報センター

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

ENR00006IH0004

2024年7月作成

ER2407004

循環器医療に、
こころ躍る未来を。

「最近の医療は大きく進歩していますよ」
ドクターのこの一言が患者様を
どれほど勇気づけることでしょう。
アルバースは循環器医療機器の
エキスパートとして
その進歩を支えることで、
医療現場の皆様や
患者様ひとりひとりの未来に
明るい希望を巡らせ続けます。

こころが躍る瞬間に、
アルバースも共にいます。

株式会社アルバース

本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-1
日本橋三丁目スクエア4F
TEL:03-6665-0485 FAX:03-6665-0486
URL: <https://www.alvaus.co.jp/>

オフィス:東京・西東京・横浜・千葉・静岡・沼津・浜松・豊橋・金沢・福井・大阪
サテライト:城南・立川・八王子・さいたま・川越・熊谷・太田・前橋



ALVAUS

株式会社アルバース



Webサイト



経皮吸収型・ β_1 遮断剤 薬価基準収載
処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

β ビソ[®]テープ[®] 2mg・4mg・8mg

(ピンプロロール・テープ剤) *Bisono tape 2mg・4mg・8mg*

トーアイヨ
製造販売

■効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、
製品添付文書をご参照下さい。

2021年10月作成
BTB5208D

[文献請求先・お問い合わせ先] トーアイヨ株式会社 信頼性保証部 / 電話 0120-387-999



Rare Inspiration. Changing Lives.

アレクシオン・アストラゼネカ・レア・ディジーズは、希少疾患ならびに深刻な病状の患者さんと
そのご家族の人生を一変させるような治療薬を発見、開発し、お届けすることを使命としています。

<https://www.alexionpharma.jp/>



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、
革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、
社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp

